

大阪関西万博2025は

失敗タ!!

其の1: コレが、「命輝く未来社会のデザイン」?

メタンガス

- ・爆発事故(2024.3.28)
- ・テストランでも爆発する濃度検知

万博協会は『今日のメタン』みたいに、来場者に分かりやすく知らせる」と言っていたのに、HPの目立たないところに『安全にお越しいただけます』のみ。

爆発を防ぐため、会場のマンホールの蓋の344か所を穴あき蓋に交換、さらに61か所をグレーチング蓋に変更して排出促進。来場者をメタン・一酸化炭素・硫化水素・アンモニアなど有毒ガスにさらし続けている。さらに、排出量の多いガス抜き縦管の計測をやめ、測定数値の公表も止め、隠ぺい。

4/13~7/29 までの会場外への 救急搬送 363 件

主な症状：意識障害・呼吸困難・頭痛・嘔吐・痙攣など・・・熱中症のほか、有毒ガスやレジオネラ属菌が原因の可能性も懸念される。

1 万人以上帰宅できず

8/13 中央線不通のため、5万人近くが深夜まで足止め。33人が病院に搬送。多くの人が屋外の地べたで寝るなどして夜を明かした。水が配布されたのは翌朝4時。対応の遅れ。

能登半島地震被災地 支援後回し

◆国の予算支出：
被災者支援(約1兆円) ⇔ 万博(約13兆円)

◆大阪府市からの派遣職員：
被災地(22名) ⇔ 万博(351名)
※東日本大震災では252名

未払い問題

11の海外パビリオンで発生 連鎖倒産と生命の危機

大手ゼネコンが「間に合わない」と言って手を引いたのに、吉村知事が「絶対間に合わせる」と言って直接お願いしたのに応え、昼夜を問わず働き、有害物質が埋まっている、軟弱地盤での難工事をやりとげ貢献したのに、「民民の問題だ」と未だ支援せず。「万博協会の無策が引き起こした」と報道されている。博覧会史上、前代未聞。

さらに、海外パビリオンで働くスタッフの賃金も未払い発生。労働組合を結成して博覧会協会に対し労働環境の実態調査と労働法順守の指導を訴えている。違法。

レジオネラ属菌 ウォータープラザ・静けさの森 の人工池で検出

ウォータープラザの水は産業廃棄物からの浸出汚水も流れ込んでいる。大量の塩素で殺菌後、噴水ショーを再開。池では子どもたちが水遊びしている。レジオネラ菌を完全になくすことは不可能との専門家の声も……。他にも、ドライミスト・太陽のつぼみサウナ・その他の噴水施設の、保健所による水質検査結果も未公開。レジオネラ属菌・大腸菌・残留塩素、などの数値結果は真っ黒に塗りつぶされている。

シオユスリカ大発生

夢洲に生息していた絶滅危惧種を含む、鳥類113種、植物193種、昆虫104種を追い払って、万博とIRカジノ用地にしたため、シオユスリカの捕食生物がいなくなったのが原因。結局、シオユスリカは、大量の殺虫剤で殺処分された。